



60代シングル的生活満足度と資産運用

2022年11月24日

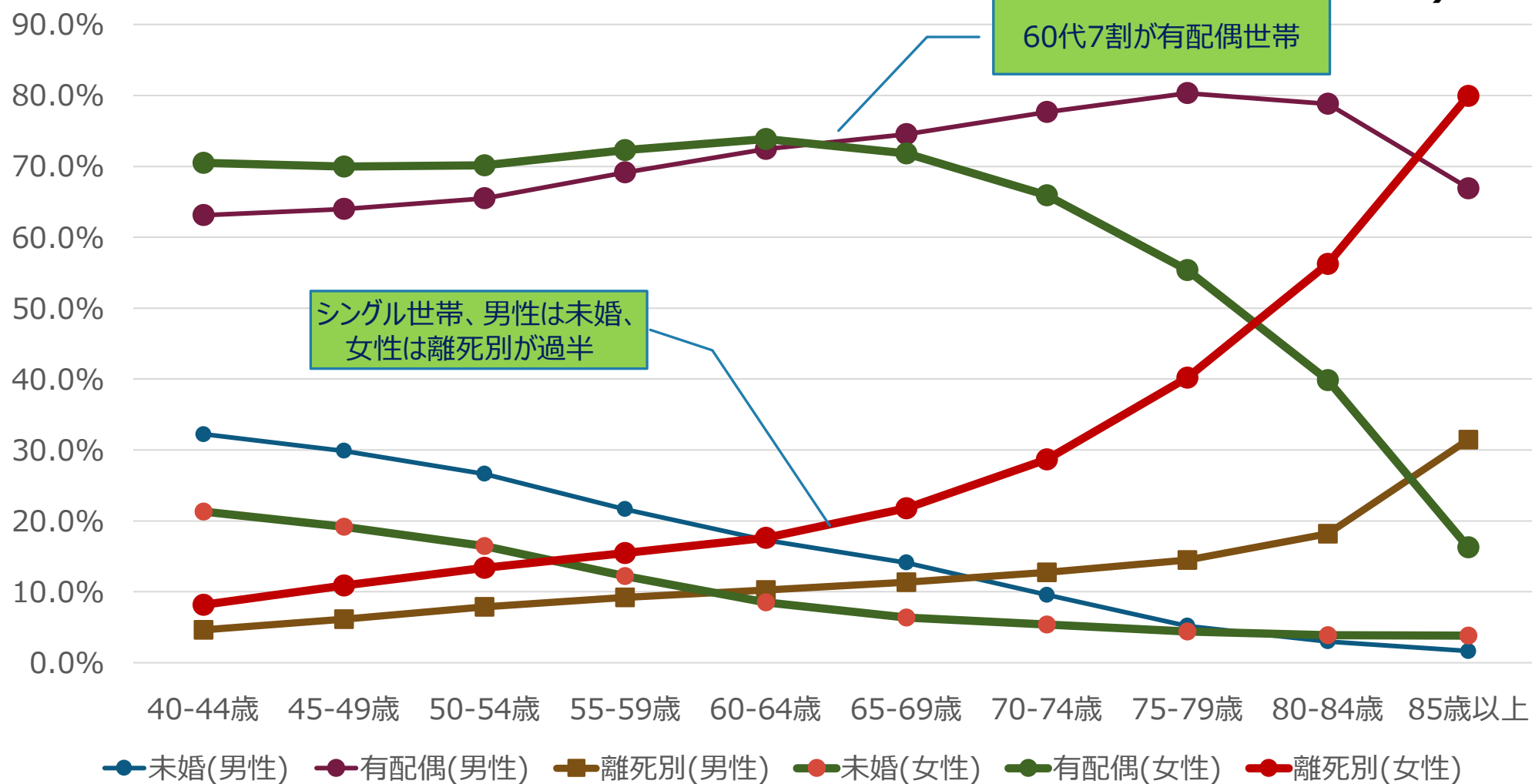
合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

60代シングル世帯は3割に

配偶関係別の世帯構成

(単位：%)



(出所)国勢調査 2020年 よりフィンウェル研究所作成

シングル世帯の満足度は低い

60代世帯構成別の生活全般の満足比率(単位：人、%)

| | 回答者総数 | 構成比 | 満足比率 | | |
|--------------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | | | 合計 | 男性 | 女性 |
| 有配偶世帯 | 4548 | 70.1% | 50.0% | 48.6% | 54.1% |
| 夫婦のみ | 2760 | 42.6% | 52.5% | 51.2% | 55.8% |
| 夫婦と子供 | 1583 | 24.4% | 46.4% | 45.0% | 51.7% |
| 夫婦と親 | 205 | 3.2% | 43.9% | 44.8% | 40.5% |
| 単身世帯 | 1623 | 25.0% | 34.6% | 38.3% | 41.0% |
| 単身 | 1193 | 18.4% | 33.9% | 31.5% | 40.8% |
| 単身と子供 | 180 | 2.8% | 38.3% | 36.2% | 39.6% |
| 単身と親 | 250 | 3.9% | 35.2% | 32.3% | 44.3% |
| その他 | 315 | 4.9% | 39.7% | 39.7% | 39.5% |
| 合計 | 6486 | 100.0% | 45.6% | 44.2% | 49.6% |

有配偶世帯は半分が満足している

唯一、男性の方が女性よりも満足比率が高いのが、夫婦と親の世帯

単身世帯の満足比率は3分の1に留まる

有配偶世帯、単身世帯ともに女性の方が満足度が高い

(注)満足比率は「生活全般の満足度で、満足できる」、「どちらかといえば満足できる」と回答した人の比率
 (出所)合同会社フィンウェル研究所、「60代6000人の声」アンケート、2020年

資産運用を行っていることがプラス効果

60代世帯構成別の生活全般の満足度に影響する項目

| | 有配偶世帯 | 単身世帯 |
|------------------|-------|------|
| 健康状態の満足度が高いこと | ◎ | ◎ |
| 仕事・やりがいの満足度が高いこと | ◎ | ◎ |
| 人間関係の満足度が高いこと | ◎ | ◎ |
| 資産水準の満足度が高いこと | ◎ | ◎ |
| 働いていないこと | ◎ | ◎ |
| 資産運用をしていること | | ◎ |

資産運用をしていることは有配偶世帯でも単身世帯でも生活全般の満足度にプラスの影響を与えているが、単身世帯のデータの方だけ統計的に有意に出ている

(注)生活全般の満足度を目的変数として、重回帰分析を行い、1%の水準で統計的に有意で、偏回帰係数が0.1を上回っているものだけを抽出。偏回帰係数のマイナスの符合は「●●をしていないこと」のように表記
(出所)合同会社フィンウェル研究所、「60代6000人の声」アンケート、2020年

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所